

都知事選挙

「革新都政をつくる会」東京都知事選挙法定ピラー1号

くらし・格差
ムダづかい……

あなたの願い
たくせるのは

このピラーは選挙期間中、自由に配布できます。

●ご意見・ご感想は、
tel 03-5978-4031
fax 03-5978-5052
http://www.ny.air
net.ne.jp/kakushin



福祉・介護

大型開発

政党との関係など

現東京都知事^{99年}～現在

- 介護保険導入を理由に「ねたきり手当」廃止。65～69歳の医療費助成も廃止。
- 都立母子保健院を廃止。さらに小児病院廃止計画はじめ都立病院の民営化・縮小を推進。
- 特養ホームの補助金削減。介護保険3施設(特養ホームや老人保健施設など)の定員数(高齢者人口あたり)は全国最低47位。

- 超高層ビルや大型幹線道路などの投資に毎年1兆円を使う。そのため増収になっても都の借金は最高水準のまま。

1兆円といえばバブル前の2倍の額。「進むも地獄」と知事自ら認めた臨海開発に巨額の税金投入。超高層ビルの建設ラッシュで東京のヒートアイランドは加速しました。

- オリンピックをテコに、今後8.5兆円規模の大型開発推進。

高尾山にトンネルをほる圏央道建設。住民合意もなく住環境を破壊し公害まきちらす外環道路や首都高遠通道路川線をはじめ、大型道路などが次々。

- 自民、公明、民主など「オール与党」に支えられる。
- 選挙では自民党の支援を受ける。

前宮城県知事^{93年}～05年

- 介護保険導入を理由に「介護手当」を廃止。障害者や一人親家庭の入院給食費まで有料に。
- 県立の保育専門学院も廃止。「生活困難で払いたくても払えない人」からの国民健康保険証のとりあげを市町村と一体に推進。
- 介護保険3施設の定員数は全国で40位。

- ムダな大型開発すすめる。
——船の来ない港

事業費3千億円の石巻港整備で、4万トン級の船に対応した巨大ふ頭建設。しかし船はめったに来ず、4万トン級の船は、完成後8年でわずか一隻だけ。

- 赤字必至の空港アク鉄道

仙台空港の利用者が1.5倍に増えているはずと称して、直通鉄道の建設をすすめたものの(開業は3月18日)、空港利用者はその後まったく変化なく、赤字は必至といわれています。

- ダム建設上大沢ダム。費用は当初の3倍に膨張

- 大型開発で県の借金を増やし2倍に。

現都政を「基本的にはだいたい継承」
3.6記者会見で

- 現都知事を支えた「オール与党」の一員・民主党の支援を受ける。
- 宮城県知事の時代も、自民、公明、民主、社民の「オール与党」に支えられる。

革新無所属・共産党すいせん元足立区長^{96年}～99年

- 民間のホームヘルパー養成を2倍に増やし、24時間巡回型介護を区内全域に広げる。
- 子どもの医療費無料化を2歳までから入学前まで一気に拡大(98年度)。
- 特養ホーム3カ所同時建設すすめる。都内初の認知症高齢者グループホーム開設。

- 前の区政がすすめた大型事業(ホテル誘致計画)をキッパリ撤回。

- 毎年の新たな借金額を、半分以下におさえ、返済額の方を多くして、財政再建に道開く。



- 現都知事を徹底追及する日本共産党と無党派の方々が共同してすいせん。
- 足立区長時代も、無党派の区民と共産党との共同で改革にとりくむ。

あなたの一票を

革新無所属
日本共産党すいせんの
都知事候補に

憲法と民主主義 都政にとりもどす

現知事は、都政で憲法と民主主義を踏みにじりました。日本共産党すいせん・元足立区長の都知事候補は、みなさんと力をあわせ憲法を都政にしっかり生かします。



→四重層用の貴石とガラスの組み合わせ、ワンダーサイトの乱脈をたどるアートワークの美しさも目撃の作品

私物化、ムダづかいを一掃

海外視察や交際費のあり方を抜本的に改めます。現知事がトップダウンですすめたワンダーサイトの乱脈をたどります。「新銀行」は都の出資金と預金者保護を前提に処理します。

「日の丸・君が代」の強制を改めます

強制を「違憲・違法」とした地裁判決を受け入れ、控訴をとり下げます。子ども中心の入学・卒業式を大切にします。



憲法都市宣言、「お出かけ知事室」

第9条をはじめ憲法改善に断固反対し、米軍基地の早期撤去を求めます。知事の「独裁」ではなく都民の声を都政に反映するしくみをつくります。



税金は、大型開発ではなく くらし・福祉一番に

元足立区長・
都知事候補の
都政改革
プラン

オリンピックの積立 **年1000億円** 活用

- 中学3年まで医療費無料に 115億円
 - 妊婦健診の無料化 100億円
 - 認可保育所増設へ用地費助成を創設 25億円
 - 65~69歳の医療費、一割助成から開始 160億円
 - 重度要介護高齢者に月1万円手当 60億円
 - 障害者自立支援法にともなう利用者負担の軽減 20億円
 - シルバーパスの負担軽減へ、3000円パスも導入 40億円
 - 特養ホームの建設数3倍化 300億円
 - 都営住宅を毎年1000戸新規建設 55億円
 - 新・元気を出せ！ 商店街支援事業の拡充 40億円
 - 若者の正規雇用の促進 23億円
 - 生活応援手当(月1万円)制度つくる 60億円
- 合計で.....998億円

(いずれも都の年間予算として)

他にも大型開発などを見直して財源をつくり、30人学級実現、私学助成拡充、木造住宅の耐震補強工事への助成など都民の願いを実現します。

大型開発に メスをいれてこそ 福祉も、環境も、 財政も、改善できる

現知事のすすめるオリンピック計画は、競技施設整備などに1兆円以上の資金がかかるとともに、オリンピックをテコに、大型幹線道路など7兆円をこえる基盤整備を一気に完成させようというものです。合計で8.5兆円のこんな計画は白紙にもとし、都民参加で再検討すべきです。

元足立区長の都知事候補は、区のホテル誘致計画をキッパリ中止させました。そして、公共事業を福祉や教育、生活道路など生活密着型に変えて、中小企業の仕事を確認しながら、福祉も充実し、財政もたてなおす道をひらきました。